
Oral presentation

[A] Control methods (physical, chemical, other)

Fri. Mar 29, 2024 1:30 PM - 5:00 PM Site A (Tachibana)

2:15 PM - 2:30 PM

[A-14]新規浸透移行性殺虫剤ジンプロピリダズ（アクサリオン[®]）の効果特性

○Junji Ohkawa¹, Haruka Takeda¹, Koshi Gunjima¹, Yoshiaki Kato¹, Desirée Margaret Hodges², Hideki Yoshinaga³, Satoshi Higuchi⁴ (1. BASF Japan Ltd., 2. BASF Corporation, 3. Kumamoto Agri. Res. Cent., 4. Kumamoto Pref. Government)

ジンプロピリダズ（有効成分通称名：アクサリオン[®]）はBASF社が開発した新規作用機構（IRAC分類グループ36）の殺虫成分であり、アブラムシ類やコナジラミ類のようなカメムシ目害虫に対して高い効果を発揮する。本発表では本剤の効果特性である茎葉処理効果による浸透性、根からの浸透移行性、効果発現速度および作物へのウィルス感染抑制効果について報告する。

浸透性試験では、本剤を葉表に散布したキャベツ葉裏にモモアカアブラムシを放虫した結果、死虫率100%の高い防除効果が確認された。浸透移行性試験では、本剤希釈液をトマト苗定植時に株当たり50ml処理した結果、タバココナジラミに対し、無処理区と比較し高い防除効果が確認された。またEPGsによる効果発現速度試験では、本剤を処理した対象害虫で速やかな吸汁行動抑制が確認された。さらにタバココナジラミを対象としたトマトの圃場試験では、TYLCVへの感染率の減少が確認され、本剤による高い吸汁抑制効果が示唆される結果が認められた。